



いじめが起きる要因や解決策を付箋でまとめる児童生徒

7月28日

## 漁業の繁栄を願う 夏の風物詩「海中みこし」

夏の風物詩「海中みこし」が、厳島神社例大祭の最終日に白糠漁港の前浜で行われました。

みこしは午後3時頃に前浜に到着。担ぎ手たちは、「わっしょい」の掛け声とともに冷たい海の中を練り歩き、漁業の発展と安全操業を祈願しました。

その後、神社の神殿まで続く76段の階段を上ると、見物客から大きな歓声と拍手がわき起きました。



勇壮な姿を披露し、大勢の見物客を楽しませた「海中みこし」

7月30日

## いじめ「ゼロ」の学校を目指して 子ども会議2024

生徒指導研究協議会主催の「子ども会議2024」が白糠高校で開催され、町内の小学校から高校までの児童生徒会代表17人が集まり、いじめ防止に向けた取り組みについて協議しました。

会議では「いじめについて話し合うことが抑止力になる」、「交流の機会を増やし、孤立しないようにすることが大事」など、活発な意見が交わされていました。

8月1日

## 一秒でも早く逃げるため 津波救命艇避難訓練

恋問地域の津波避難対策として昨年12月に設置された「津波救命艇」の避難訓練が行われ、恋問町内会の会員15人が参加しました。

参加者は、防災無線の合図とともに救命艇へ避難。鍵の開け閉めやベルトの着用方法などを確認しました。

森田和夫会長は「一人一人が救命艇の機能を再確認するためのよい訓練になりました」と話していました。



救命艇内に避難する恋問町内会の会員



八王子の車人形体験をする子どもたち

7月31日～8月2日

## 八王子市の歴史や文化を学ぶ 八王子市・白糠町子ども交流事業

江戸時代から白糠町と歴史的つながりのある東京都八王子市との交流事業が同市で開かれ、白糠の小学生15人と同市の小学生15人が交流しました。

子どもたちは、八王子車人形の芝居で使用する人形を操る体験を行ったり、「八王子まつり」に参加したりと、さまざまな体験を通して八王子市の歴史や文化に触れるとともに、交流を深めていました。



清掃後に記念撮影する海上保安部職員と園児たち

7月23日

## 海をきれいにすることの大切さを学ぶ しらぬか恋問海岸海浜清掃

第一管区海上保安部釧路航空基地の海浜清掃が行われ、白糠と庶路のこども園の園児が参加しました。

海浜清掃は、園児たちに海をきれいにすることの大切さを伝えようと毎年実施されています。参加者は、道の駅しらぬか恋問付近の海岸150mで、ペットボトルなど約30kgのごみを拾い集めました。清掃後、きれいになった海岸に園児たちの笑顔がはじけていました。



アンコールでは4人が一緒に演奏し、来場者を喜ばせました

7月27日

## 音楽の魅力や楽しさを伝える ピアノ・声楽・リコーダーコンサート

「夏に音楽の彩りを」をテーマにしたピアノ・声楽・リコーダーによるコンサートが社会福祉センターで開かれ、来場した約40人が歌や演奏を楽しみました。

コンサートでは笠原茂子さんのピアノや笠原邦夫さんのリコーダー独奏、菊地江さんのソプラノ独唱、メゾソプラノの佐藤順子さんを加えた二重唱が披露され、来場者は惜しみない拍手を送っていました。

7月19日

## 日本とインドネシアの絆を深める チャンドラさん「JET絆大使」

J E T プログラムによりスポーツ国際交流員としてインドネシアから赴任しているマデ・チャンドラ・ベラタさんが、総務省の「J E T 絆大使」に任命されました。チャンドラさんはJ E T プログラム任期満了後、J E T 絆大使として日本と母国との友好の橋渡し役となります。また、8月19日からは町の会計年度任用職員として引き続きバドミントンの指導にあたります。



川島真澄教育長から任命書を受け取ったチャンドラさん（右）

7月24日

## 糖尿病の正しい知識を学ぶ 健康ステップアップ講座

町主催の「健康ステップアップ講座」が社会福祉センターで開かれ、町民23人が参加しました。

講座では、森田医院の森田三雄院長が「糖尿病の最新情報」と題して講話。森田院長は「糖尿病治療薬SGLT2阻害剤は、尿に糖を出することで血糖値を下げる飲み薬で、心臓と腎臓を保護する効果もあるため、それらの治療にも用いられている」と話していました。



講師を務めた森田院長